

## 令和4年度 第4回沖縄県振興推進委員会 議事概要

- 1 開催日時 令和5年3月17日(金) 13:30~14:30
- 2 開催場所 沖縄県庁6階第2特別会議室
- 3 出席者 玉城知事、照屋副知事、池田副知事、島袋政策調整監、秘書防災統括監(知事公室長代理)、総務部統括監(総務部長代理)、企画部長、環境部長、子ども生活福祉部長、保健医療部長、農林水産部長、産業雇用統括監(商工労働部長代理)、文化観光スポーツ部長、土木建築部長、教育長、病院事業統括監(病院事業局長代理)、企業企画統括監(企業局長代理)、沖縄県警察本部警務部参事官(沖縄県警察本部長代理)
- 4 議 題 【審議事項】沖縄県P D C A実施結果(対象年度:令和3年度)について  
【報告事項】沖縄21世紀ビジョン基本計画・実施計画達成状況取りまとめ(対象年度:平成24年度~令和3年度)について

### 5 審議内容

#### (1) 審議

- ア 事務局が資料2「沖縄県P D C A実施結果(対象年度:令和3年度)」、資料3「沖縄21世紀ビジョン基本計画・実施計画達成状況取りまとめ(対象年度:平成24年度~令和3年度)」に基づき説明を行った。
- イ 保健医療部長から、目標とするすがたを客観的な数値で設定しているもの、主観的な県民意識調査の結果で設定しているものの2種類があるが、揃えた方がいいのではないかとの質疑があった。  
それに対して、事務局が、10年前、沖縄21世紀ビジョン実施計画で設定した目標とするすがたを継続していたが、新・沖縄21世紀ビジョン基本計画では成果指標を客観的な数値で設定し、E B P Mを推進していくと説明を行った。
- ウ 照屋副知事から、経済同友会から要請のあった幸福度をP D C Aに反映していく上での留意点について質疑があった。  
事務局が、客観的な評価ができるP D C Aに、県民意識調査をどのように組み込むことができるか検討していくと説明を行った。
- エ 池田副知事から、資料3の将来像5では目標とするすがたの達成は100%だが、成果指標の達成は3割未満というのはわかりづらいとの質疑があった。  
事務局が、新・沖縄21世紀ビジョン実施計画については令和5年度からP D C Aにて検証を行い、適宜、見直しをし、対応したいと説明を行った。

オ 政策調整監から、沖縄21世紀ビジョン基本計画の評価は、県庁内部でのみ行っていくのかとの質疑があった。

事務局が、評価を内部で行った後に県民へ公開し、意見募集を行っており、提出された意見に対応していると説明を行った。

カ 沖縄県PDCA実施結果（対象年度：令和3年度）については事務局案のとおり、全会一致で了承された。

(2) 議題の報告終了後、委員長（知事）から次の発言があった。

ア 事務局においては、ただ今のご意見等を踏まえ、柔軟に、より成果指標について探求していただきたい。

イ 今後は「新・沖縄21世紀ビジョン実施計画（前期）」の着実な推進を図るとともに、毎年度、成果指標の達成状況等に基づき、全庁的にPDCAを実施する。

前計画は、本県主体で策定した初めての総合計画であり、県民一丸となって計画に基づく施策に取り組んだ結果、コロナ禍前までは、これまでにない成果の伸びを示していた分野があったものの、コロナ禍の影響により目標の達成率が下押しされるなど大きな影響が生じたことが確認できた。

ウ 今年度から、新・沖縄21世紀ビジョン基本計画がスタートしている。新・基本計画においては、ロジックモデルを明確にし、EBPMを徹底することで、全庁的にPDCAを実施する。

エ 各部局においては、新・沖縄21世紀ビジョン基本計画の起点において、前計画のPDCA検証結果を振り返り、新・沖縄21世紀ビジョン基本計画の目標に向けて、施策の推進に全力で取り組まれるようお願いする。

以上